

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和4 年 8 月 15 日

設置・運営主体	株式会社プリムラ		
設置主体	株式会社プリムラ		
経営主体	株式会社プリムラ		
事業所名 (施設名)	さくらそう保育園 東領家	種別	保育所
所在地	〒 332-0003 埼玉県川口市東領家3-16-2-102		
電話	048-222-5150		
FAX	048-222-5150		
Email	higashi@sakurasou-hoikuen.com		
URL	https://sakurasou-hoikuen.com/		
施設長氏名	松橋 史		
調査対応担当者	西山 昂佑	(所属、職名： 管理者)	
利用定員	12 名	開設年	平成 27 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
保育理念 児童福祉法に基き、子ども一人ひとりの育ちを大切にすると共に、保護者を支援し信頼される保育を目指す			
保育方針 主体的な活動（自由遊び）を中心とする保育により、自発性と思いやりの心を育てる			
保育目標 今をよく生き、望ましい未来を創る力をつける			
開所時間 (通所施設のみ)	8 : 00 ~ 19 : 00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	2	2	1		4
1歳児	5	5			
2歳児	5	5			
3歳児					
4歳児					
5歳児					
計	12	12	1		4

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		5人	
うち	保育士	5人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	0人	その他（ ）人
非常勤職員数		1人	（常勤換算 0.5人）
うち	保育士	人	（常勤換算 人）
	保健師・看護師	人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	人	（常勤換算 人）
	その他（ 保育支援者 ）	1人	（常勤換算 0.5人）

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 0人	非常勤： 0人
	退職	常勤： 0人	非常勤： 0人

（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢 45.2歳（45.2歳）

（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数 4.4年（4.4年）

（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)		53.9 m ²
	児童1人あたり	4.49 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積		0 m ²
	児童1人あたり	0 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	5年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

さくらそう保育園では、お子さまたちはもちろん、保護者のみなさまのお気持ちにも寄り添いたいと考えています。そのため、日々の保育の中で、以下のような対応を行っています。

1. 登降園時の会話

登園時や降園時に、お子さんの様子を含めて、保護者のみなさんとの情報交換を行っています。ご家庭での様子をお聞きしたり、園での様子をお話ししたりする中で、一人ひとりのお子さんと、そのご家庭に必要な支援を検討していきます。また、直接言葉を交わすことで、お互いの信頼感を深めて、どんなことでも気楽にお話しいただける人間関係を築いていきたいと考えています。

2. ICTシステムの利用

従来の連絡帳に替えて、保育園用のICTシステムを導入しています。このため、スマホさえあれば、夜間や休日等の保育時間外でも、また、お勤め先や通勤途中の電車やバスの中でも、ご都合に合わせて必要なことをお伝えいただけます。

3. 行事

基本的には、行事等の活動よりも、日々の保育を大切にしたいと考えています。しかし、保護者のみなさまに園での保育にふれていただく機会として、また、保護者のみなさま同士のコミュニケーションの場として、誕生会や園外保育等、年に数回程度の行事を行っています。特に、誕生会では、保護者のみなさまにも保育にご参加いただいたり、給食を試食していただいたりして、園の様子を体験していただく機会ともなっています。さらに、ご希望に応じて、個別の懇談会も行っています。

4. 個別対応

登降園時は、時間的にあまりゆっくりできませんし、誕生会等の行事は、限られた時期にしか行われませんので、ご希望やご都合に合わせて、個別に時間をお取りしています。お子さまのことや子育てのことはもちろん、ご家庭のことやお仕事のこと等、話しておきたいことや相談したいことがありましたら、いつでもお気軽にお声かけください。スタッフ一同、親身になって対応させていただきます。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

さくらそう保育園では、遊びを中心とした主体的な活動を通して、自発性と思いやりの心を育てています。また、子どもたち一人ひとりが、その個性を活かしてのびのびと過ごせるように、さらに、愛されているという安心感と自己肯定感を持てるように、ゆったり・のんびりとした雰囲気作りに努めています。そして、すべてのスタッフが、子どもたちの思いに寄り添い、時に見守り、時に必要な手を差し伸べて、しっかり関わりを持っています。

1. 室内遊び

室内でも身体を動かして元気に遊べるように、さまざまな遊具を工夫して使っています。大型のソフト積木や体操用のマット等は、そのままでも楽しく遊べますが、それらを組み合わせることで、アスレチックを作っています。この創作遊具は、子どもたちの興味や関心、発育や発達の度合い等に合わせ、その時々で違った形に出来上がります。大きな滑り台になったり、高いジャンプ台になったり、トンネルのような隠れ家になったり、ボールやちぎった新聞紙等を入れてプールになったり、シンプルに外側を走り回ったり...。子どもたちの想像力と、スタッフの臨機応変なセンスで作られた、世界にひとつだけのステキな遊び場になります。

2. 外遊び

天気の良い日は、みんなでお散歩カーに乗って、近隣の公園まで散歩に行きます。広場で鬼ごっこやボール遊びをしたり、林のような植木の中でお花や虫を探したり、築山を駆け上ったり駆け下りたり、砂場で型抜きやおだんご作りを楽しんだり、滑り台やブランコ等の固定遊具で遊んだり...。子どもたちが興味や関心を持つものが、保育室よりもはるかにたくさんある空間で、自由にのびのびと遊びまわっています。また、公園内はもちろん、行き帰りの路上においても、地域の人たちとの様々なふれあいが、子どもたちにとっても大切な経験になっています。近隣に住む人たち、それぞれの家で飼われているワンちゃんやネコちゃん、そして、地元で仕事をしている人たち...。あいさつを交わす等、ちょっとしたやり取りが、家族やスタッフとはまた違った、貴重なつながりになっています。

3. 絵本

良質な絵本を厳選して、子どもたちがいつでも自由に手に取れるように、子ども用の本棚に置いてあります。そして、絵本にふれる機会を少しでも多く持てるように、落ち着ける時間帯（給食や昼寝の前等）に、定期的に読み聞かせを行っています。さらに、自由な遊びの中では、子どもたちと一対一で向き合えることで、子どもとの関係を深めるきっかけにもなっています。

4. 音楽

テレビや映画等で、子どもたちに人気の曲に加えて、オリジナルの歌やダンスを作って楽しんでいます。楽曲も、CD等の音源だけではなく、スタッフ自身がピアノやウクレレ、ギター等で演奏しています。子どもたちと向き合い、いっしょになって歌ったり踊ったりすることで、自由に表現することの楽しさを感じられるようにしています。

5. 行事

日々の保育を大切にするために、行事として行う活動は最小限に抑えています。また、その内容も、行事に向けて練習を重ねた結果を発表するのではなく、日常的に楽しんでいることを公開するものになっています。これは、目に見える成果を求めることで、子どもも大人も疲れてしまうような状況を避けて、毎日をゆったりと過ごすことにもつながります。そして、このゆったり感が、子どもが遊びに集中したり、スタッフがさまざまな個性を受け入れたりする余裕につながると考えています。

6. 呼称

さくらそう保育園では、スタッフに対して「〇〇先生」という呼び方をしていません。子どもも他のスタッフも、親しみを込めて「〇〇さん」と呼び合っています。これは、子どもも大人も、同じ目線の横のつながりでありたいという思いの表れです。同様に、スタッフ同士でも、「園長」等の役職では呼ばず、子どもたちと同じように「〇〇さん」と呼び合います。これも、スタッフの中に役割の分担はあっても、上下の関係はないという考えによるものです。子どもも大人も、園に関わるすべての人たちが、大切にされる場であってほしいと願っています。

7. 園

さくらそう保育園 東領家は、小規模保育という特性を活かした一部屋の保育室で、アットホームな保育を行っています。0歳から2歳までのお子さんたちが、まるで姉妹や兄弟のようにふれあいがながら、さまざまな活動を通して、なかよく過ごしています。コンパクトな中にも、絵本やおままごと等のコーナーがあり、一人ひとりのイメージをふくらませながら、好きな遊びに集中することができます。また、一続きの空間を利用して、前述したアスレチックのような遊具を作って、思いっきり身体を動かすこともできます。給食やおやつ、お昼寝も、みんなといっしょで、その様子は、さながら大きな家で過ごす大家族のようです。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

 0 回 （平成 年度）